

(特非) 日本オランウータン・リサーチセンター

マレーシア・ダナムバレイ保護区における オランウータンの長期調査を基盤とした、 人材育成と普及啓発事業

活動地域  マレーシア



オランウータンの親子

課題

ダナムバレイ地域に生息するオランウータンを長期生存可能な個体群として維持する。

目標

地元に関連組織からの理解と協力を得ながら、ダナムバレイ地域に生息するオランウータンの生息密度を調べるモニタリング調査を毎月行う。



今後の展望

ダナムバレイでは、外国人の渡航制限によってエコツアー事業は閉鎖され、壊滅的なダメージを受けている。その損害は大きく、1-2年程度で元に戻るものではない。今後は、オランウータンの調査活動と並行して、現地の観光業復興を支援したいと考えている。

はじめる助成

1年目

調査研究

活動内容と成果

ボルネオ島マレーシア領サバ州にあるダナムバレイ保護区には、約500頭のオランウータン (*Pongo pygmaeus morio*) が生息している。この地域のオランウータンを対象に、生息密度調査と果実量調査を毎月行う予定であった。新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航が禁止されたために、助成期間の1年間は日本人研究者らが現地に行き調査を行うことができなかった。しかし、現地スタッフによるオランウータンの長期調査は、規模は縮小したものの、ロックダウンの期間以外は実施することができた。そして、乏しいデータからの推測ではあるが、オランウータンの生息数に大きな変化は起こっていないことを確認できた。これらの成果を、セミナーや学会で報告、また学術雑誌への話題提供として投稿した。



オランウータン生息密度調査中の
現地スタッフ

生息密度調査の実施期間 **10**か月

報告書・セミナーなどでの成果報告 **4**回

今年度計画の達成度 **70**%

目標達成度 **40**%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

保護区へ入る際には、現地スタッフはPCR検査を受け、陰性証明書を用意する必要があった。

■ 工夫した点

現地の関連組織の代表と頻繁に連絡を取り合い、常に化する現地の感染状況に合わせて、現地スタッフの活動内容を決めた。

〒168-0064
東京都杉並区永福町四丁目5番
1号

E-mail : info@orangutan-research.jp

HP : <https://www.orangutan-research.jp/>

